

SDGs

持続可能な開発目標

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) とは、2016年から2030年までの国際目標。

持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。



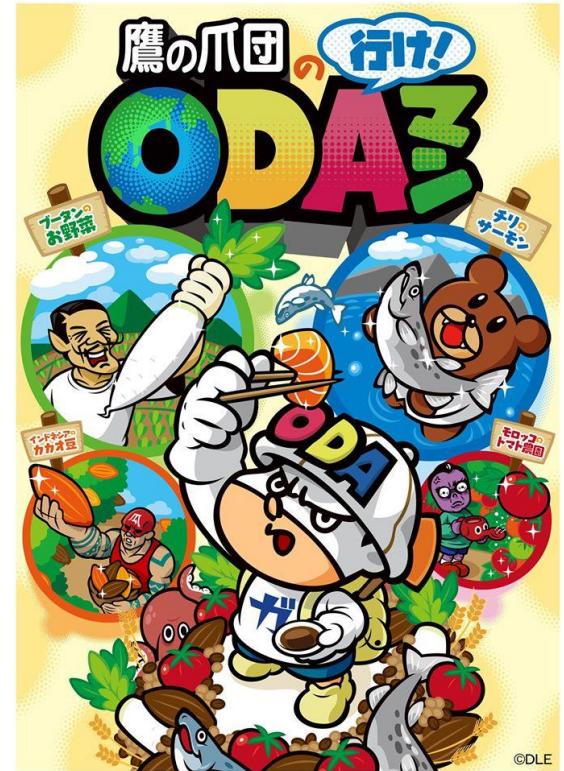
ODA

ODA (Official Development Assistance (政府開発援助)) は、「開発途上地域の開発を主たる目的とする政府及び政府関係機関による国際協力活動」のための公的資金のことです。

飢えや貧困に苦しみ、十分な食料や飲み水が得られなかったり、教育や医療を満足に受けられなかったりする人々を抱える国・地域は、世界196か国・地域のうち、146か国・地域 (出典DAC資料) にも及びます。また、環境・気候変動、水問題、大規模自然災害、感染症、食料問題、エネルギーなど地球規模の問題も山積しています。

日本は、国際社会の平和と安全及び繁栄の確保により一層積極的に貢献することを目的に開発協力 (ODAなど) を推進しています。

開発協力を通じて途上国の発展を手助けし、地球全体の問題解決に努める日本に対して、世界各国から寄せられる期待は少なくありません。 外務省ホームページを一部改変し作成



外務省ホームページより引用

SDGsとODAの関係：SDGsを達成するための「実施手段」として、ODAの数値目標 (ターゲット17.2：先進国は、開発途上国に対するODAをGNI比0.7% など) について言及しています。SDGsに対するODAの役割は、民間の資金の動員のための触媒としての役割と、技術移転や能力構築の支援など重要であることが強調されています。